

研究協議会で活動を報告 厚労省担当者より激励のコメントをいただきました

「令和4年度 生活支援コーディネーター研究協議会」
 令和5年1月25日（水）
 全国社会福祉協議会・灘尾ホールよりオンライン配信
 主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

ささえ愛ながとろ
 （協議体）
 活動報告！！

平成27年に介護保険法の中に位置づけられた「生活支援体制整備事業」。早7年が経つ現在も、より良い支援体制を模索する日々が続いています。

この研究協議会では、生活支援コーディネーターの活動について研究・協議することを目的に、生活支援体制整備事業関係者を対象に開催され、全国から450人以上がオンラインで参加されました。その中で実践報告者として、沖縄県名護市と我が長瀬町が選ばれ、野口恵子生活支援コーディネーターが「ささえ愛ながとろの活動」について報告されました。その時の発表を受け、この研究協議会において行政説明をされた、厚生労働省 岸英二氏にささえ愛ながとろの活動について寄稿していただきました。



オンライン研究協議会で発表する野口コーディネーター

日本は本格的な「少子高齢化・人口減少時代」を迎えようとしています。医療・福祉人材の確保も困難となる中、高齢者の皆様だけではなく、子育て・若者世代など次の時代を担う世代を社会全体で支えることができるよう、政府では「全世代型社会保障」の構築や「地域共生社会」の実現を目指しています。

その中で、高齢者の皆様は「支える側」「支えられる側」の垣根を越えた地域づくりの主体と位置づけられています。これからの地域づくりには、地域にお住まいの皆様が主役の「地域の支え合い」機能を高めることが求められています。



厚生労働省
 老健局 認知症施策・
 地域介護推進課
 地域づくり推進室長補佐
 岸 英二氏

「ささえ愛ながとろ」の活動は、こうした社会の実現のため国が目指すべきモデルのひとつと感じます。「地域にできることは地域で」という考えのもと、皆様の「こんな地域にしたい！」というアイデアが、様々な主体を巻き込みながら、いくつもの成果として結実していったことは、まさに住民本位の地域づくりと言えるでしょう。

特に、新型コロナの感染拡大の中、「こんなときだからこそできることを」というマインドで活動を継続し、そこから更に、移動販売や地域食堂など新たなプロジェクトが次々に進んでおり、皆様の地域をよくしたい！という力強いエネルギーを感じました。

最後に、「ささえ愛ながとろ」の皆様がトレードマークのおそろいのTシャツで、今後ますます御活躍されることを祈念いたします。

厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課
 地域づくり推進室長補佐 岸 英二

辻区公会堂



★おススメの一品
 「ほっけの干物」
 薄塩で、脂がのっていて、ほっくり肉厚！

区長さんや民生委員さんが、区民に声をかけてくれたお陰で、みんなが来るので楽しみにしています。

協議体委員の林さんが、忘れないように毎朝電話をかけてきてくれます。それも心強いよ。

お店と同じ値段



唐沢集落農業センター



★おススメの一品
 「ナポリタン」
 昔懐かしの喫茶店の味「ナポリタン」そのままでも、付け合わせにもできて、とても重宝しています。

小坂八寺沢中畝宅庭



昔はしょっちゅう近所でお茶のみしていたけど、今は顔みることほとんどなくなってたんで、移動販売が来るようになって、買い物も便利だけど、こうしてみんなで、顔見て話ができるのが一番だね。

「私たちが伺います」
 うえたん号スタッフ

★おススメの一品
 「辛子めんたいこ」
 ごはんやお酒のお供にサイコー！



一番近いコンビニに行くにも歩いて30分。移動販売車はなんでもあってふんとに便利だよ。

お散歩がてらに、子どもとたまに寄ります。お年寄りたちに沢山声をかけられて子どもうれしそう。



便利なうえたん号の動画(YouTube)がこちらから見られます！ぜひ見てね♪

